

2016年5月31日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

本巢市と「教育・子育て」「健康」「地域福祉」 「スポーツ」などの分野を中心に連携協定

中部学院大学（学長 古田 善伯）ならびに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）は、本巢市（藤原 勉 市長）と連携協定を結ぶことになりました。

本学では、地元出身の学生を中心に、地域で活躍できる人材を育てる教育を進めてきました。地域と連携して人財育成を行い、大学が持つ知見などの資源を活用し、地域に貢献します。今回の締結では、「教育・子育て」「健康」「地域福祉」「スポーツ」「大学教育の充実」などの分野を中心に、お互いに支援・協力することで合意しました。

なお、本学が県内の市町村と協定を締結するのは8例目です。（※1）

記

【連携協定締結式】

- 日 時 2016（平成28）年6月13日（月）午前10時30分～
- 場 所 本巢市役所（本巢市文殊324 電話0581-34-2511）
- 日 程 開 会（午前10時30分～）
協定書署名
本巢市長あいさつ
中部学院大学学長あいさつ
中部学院大学短期大学部学長あいさつ
閉 会
写真撮影
- 出席者 本巢市 藤原 勉 市長
中部学院大学 古田 善伯 学長
中部学院大学短期大学部 片桐多恵子 学長 ほか

■ 背景

わが国や地方自治体を取り巻く社会経済情勢は、急速な少子高齢化の進行や人口減少局面への移行、地方分権の進展、大規模災害への不安など、大きく変化しています。こうした時代の潮流を踏まえ、本巢市は、第2次総合計画の将来像である「自然と都市の調和の中で、人がつながる、活力あるまち・本巢」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略ー住み良いまち 日本一を目指しますー」の実現に向けて取り組みを進めています。

こうしたことから、本巢市と中部学院大学及び中部学院大学短期大学部との連携をより強固なものにし、地域課題の解決に向けた活動を行うなど、地域人材の育成や地域振興を推進していくために包括連携協定を締結します。

■ 目的

本巢市と中部学院大学及び中部学院大学短期大学部が、多様な分野で包括的に緊密な協力関係を築き、持続的・発展的に連携を深めることにより、活力のある地域社会の形成及び発展、未来を担う人材育成、並びに市民等の教育文化活動等の推進に寄与することを目的とします。

■ 具体的な連携活動内容

- ①子育て環境の充実など人口減少対策の推進
- ②地域福祉・障がい者支援の推進
- ③心や体の健康づくりの推進
- ④商品の開発や雇用の拡大につなげる連携の推進
- ⑤学術研究への協力
- ⑥地域課題について協議する場への学生の参加
- ⑦インターンシップや就職支援など大学教育の充実に関すること
- ⑧両者の広報、イメージ戦略に関する協働 など

■ 参 考 (本学の概要など)

大学院、大学 4 学部 5 学科、短期大学部 2 学科 1 専攻、通信教育部、留学生別科

- ・ 大学院＝人間福祉学研究科修士課程、博士課程
- ・ 大 学＝人間福祉学部人間福祉学科、同通信教育部
教育学部子ども教育学科
看護リハビリテーション学部理学療法学科、同看護学科
経営学部経営学科
- ・ 短期大学部＝幼児教育学科、社会福祉学科、専攻科（福祉専攻）

※1 これまでに本学が連携協定を締結した市町村

関市、各務原市、美濃市、郡上市、美濃加茂市、可児市、大野郡白川村（順不同）

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学教育研究支援部研究支援課 担当：浅野

TEL:0575-24-2238 (関キャンパス) Mail : chiiki@chubu-gu.ac.jp